

テーマ

ふるさとの歴史から学ぶ私たちの未来

事業実施地区（中学校区名）	松江市立第四中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	古志原公民館・津田公民館

テーマの背景

地域の歴史の一端を辿ることで地域の特色を捉え、史跡や遺物から読み取れる住民の想いや願いに触れることで住民の心に迫り、歴史や文化の伝承を含んだ持続可能な社会へ向けた地域課題を把握し地域の明日に繋げる。

実際の取組

⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動の実施

事業名：『膳了さんと古志原の人』紙芝居語り部 養成講座

<取組の概要>

紙芝居『膳了さんと古志原の人』を通じて膳了さん物語の普及を目的とした紙芝居語り部養成講座をシリーズで実施。

- 1 『膳了さんと古志原の人』物語の概論を理解するために『膳了さんと古志原の人』の紙芝居の上演鑑賞会を行い、併せてこの物語から古志原の福祉・互助について学ぶ講義を行った。
- 2 六十六部回国塔・膳了地蔵⇒緑山公園⇒古志池⇒知足庵⇒山代神社⇒光泉寺といった膳了さんに所縁のある古志原の名所をめぐり、ふるさとの歴史を体感した。
- 3 紙芝居演習のワークショップを行い互いに紙芝居を上演し合い、紙芝居語り部のスキルアップを目指した。その後、布の絵本サークルが制作した布芝居による『膳了さんと古志原の人々』を鑑賞した。

⇒63 連隊跡（工業高校）をめぐり、膳了地蔵現地や古志原の名所を訪ねた。

講師 紙芝居作者 古志原公民館 竹谷 強 館長

<成果と課題>

古志原地区に永年住んでいて初めて魅力的なひと・こと・ものを知り得ることが出来た。他所から移り住んできた人々が多い地域住民にふるさと感を共有する機会を提供出来た。これが、地域福祉の指針に活かせることに繋がることを期待している。

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：里づくりシンポジウム

<取組の概要>

「みんなが住みよいまちをめざして」をテーマにしたシンポジウムを開催し、小学生・中学生・高校生が活動の様子や考えを地域住民の前で発表し、全員で意見交換を行った。

- 1 「平和な世界をつくっていくために わたしたちにできること」古志原小学校6年生代表
- 2 「生徒会の New Project」松江市立第四中学校生徒会
- 3 「今年度の活動報告」県立松江工業高校 JRC 部
- 4 「今年度の活動報告」県立松江南高校 JRC 部
- 5 質疑応答・意見交換
- 6 昼食懇談

<成果と課題>

小・中・高生が地域と関わる重要な機会となり、地域の大人たちが若者の地域での活躍を再認識し、彼らに感謝の意を伝えることが出来た。小・中・高生からも、地域の人たちが自分たちの話を真剣に聴いてくれたことに深く感動していた。

若者たちの発表から、地域の大人たちは地域の将来に夢と希望を抱くことが出来たと思うが、若者たちの力や想いを、どのように地域づくりに生かしていくか、工夫を凝らした策を講じていく必要がある。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

紙芝居を活用した「膳了さんと古志原の人」物語の普及。

紙芝居語り手の養成。

史跡・遺物・伝承を知ることから地域固有の文化として共有することへの導き。

地域住民が小学生・中学生・高校生の地域活動や想いを認識し、若者への信頼を高める。

今後の展望

「膳了さんと古志原の人」物語を地区内外に広め、やがてシンボリック効果を生み、それがさらに発展し、地域住民の誇りとなるよう普及する。また、その他の文献も活用しながら地域の文化を振興する。

子どもからお年寄りまでみんなで力を合わせて、みんなが幸せになることを基本理念として様々な事業に取り組む。